

大会名称: **東日本大震災復興支援  
第9回全日本社会人バスケットボール選手権大会**

開催場所: **広島県立総合体育館(広島グリーンアリーナ) Dコート**

試合区分: **No. 12 男子 2回戦**

期 日: **2013(H25)年11月3日(日)**

主審: **小川 裕之**

開始時間: **15:30**

副審: **柿原 実**

日本無線						○ 98		25 - 13 10 - 23 27 - 26 21 - 21 15 - 12 - -		● 95		日立金属					
(実業団1)												(実業団5)					
NO.	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F	NO.	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F		
1	*	福田大佑	10	0	4	2	4	0		鈴木 恵二	-	-	-	-	-		
2	*	福田侑介	29	9	1	0	5	1	*	宮城 徹	5	1	1	0	1		
3		会川 剛史	-	-	-	-	-	3		宇佐美 勝也	16	1	3	7	3		
6	*	鈴木伸之	15	1	6	0	1	7		中村 啓彦	5	1	1	0	2		
7		松林弘祐	-	-	-	-	-	9	*	小野寺 充記	9	0	4	1	5		
9	*	小林純也	27	1	11	2	4	15	*	一戸 誠也	18	0	9	0	4		
15		近藤 大	4	0	0	4	3	24	*	黒田 幸太	19	0	9	1	0		
19		三原 大樹	7	0	3	1	3	34	*	尾崎 宏次	18	0	5	8	4		
22		鈴木 裕也	-	-	-	-	-										
24		菅原 康平	-	-	-	-	-										
25		尾崎 智則	-	-	-	-	-										
31	*	那谷 一樹	6	0	3	0	2										
34		樋渡 大樹	-	-	-	-	-										
58		鎌田 晃輔	-	-	-	-	-										
72		上野 学	-	-	-	-	-										
コーチ			尾崎智則 / TEAM				一子			小泉 直樹 / TEAM							
合計			98	11	28	9	22	合計			90	3	32	17	19		

S: スターター

PTS: ポイント

3P: 3ポイントシュート

2P: 2ポイントシュート

FT: フリースロー

F: ファール

第1ピリオド: 両チーム共にハーフマンツーマンで試合開始。激しいディフェンスからペースを掴んだ日本無線は、相手のミスや外したシュートを確実にリバウンドで奪い、速攻を仕掛けリードを広げる。日本無線25-13日立金属で第1ピリオド終了。

第2ピリオド: 開始早々から激しいディフェンスを見せる日立金属は、ターンオーバーを得点に繋げ、一気に点差を縮める。一方、日本無線はミスが目立ち、思うような試合展開が出来ず、日本無線35-36日立金属で第2ピリオド終了。

第3ピリオド: 前半終了からペースを掴んだ日立金属が突き放しにかかるが、日本無線も速攻をかけ食い下がり、点差は広がらず、日本無線62-62日立金属で勝敗の行方は最終ピリオドへ。

第4ピリオド: 一進一退の攻防が続く中、お互い一步も譲らず逆転につぐ逆転のシーソーゲームとなる。日立金属の激しいディフェンスをかいくぐり、日本無線#9小林のバスケットカウントワンスローが決まり、試合が決まったかに見えたが、日立金属#1宮城によるブザービーターの3Pが決まり、日本無線83-83日立金属で試合は延長戦へ。

延長戦: 延長戦へ入っても点の取り合いでどちらに転んでもおかしくない試合展開となる。着実にフリースローで得点を重ねた日本無線が逃げ切り、日本無線98-95日立金属で試合終了。